

各委員からの意見に対する富良野市所管課の回答について  
《第4回富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会》

意見項目	意見要旨	担当所属部署	担当所属部署の見解
新たな医師確保対策について (小山内委員)	平成27年度から医師養成確保修学資金貸付制度がスタートしたが、病院現場では医師の高齢化が深刻となっている。10年後には医師も育つと考えられるが、3年後4年後の医療確保に向けても対策が必要と考えるので、地域医療の確保に向けた新たな事業展開について要望したい。	保健医療課	医師確保対策における直近の課題としては、現在、地域センター病院が行う医師確保対策に対し助成をしているところではありますが、今後も引き続き、具体的な対策については、医師会・地域センター病院と協議のうえ、有効な事業について検討してまいります。
保育所広域入所について (久田委員)	保育所の広域入所に関する住民への周知はどのようにされているか。 富良野市では0歳児などの待機児童がいると聞いているので、中富良野町等の保育園に入所してもらうことができないか検討してみたい。	こども未来課	広域入所については、個別に該当する保護者に対して、制度内容等の説明をさせていただき、周知を図っています。 また、市内で希望する施設に入所できない保護者に対しては、他の保育施設の提供等を行い、保育の確保に努めています。 保育所の入所は、居住地の施設を利用することが基本ですが、他の自治体の保育所の方が保護者にとって利便性(保護者が他自治体で就業し、居住地の保育所の利用が困難な場合など)が高いと認められた場合に、他の自治体と協定を結んだ上で広域入所を利用していただいています。(児童福祉法第56条の6)
サイクリングロードの拡充について (岡川委員)	サイクリングロードの整備については、美瑛～富良野市までは整備されている。今後、南富良野町や占冠村も整備をすすめ、圏域が一体となったサイクリング観光を進めることを要望したい。	商工観光課	富良野美瑛広域観光推進協議会では、平成26年度、協議会内部にサイクリング部会を設置し、南富良野町・占冠村を含めた6市町村内に10本のサイクリングルートを設定しています。そのうちの1本を富良野美瑛地域の象徴的なルートとして、平成27年度、道路に案内表示をペイントする取り組みを進めてきましたが、市町村道での設定となっています。その理由としては、現在、旭川～層雲峡方面の国道でのサイクルペイントの実証実験事業を行っているため、この実証実験の結果により、今後の南富良野町や占冠村の国道を通るルート整備を検討していきたいと考えています(南富良野町、占冠村を通るコースは国道を使わなければならないため)。
住民総体の語学研修について (田賀委員)	海外からの観光客が増えるなかで、観光事業者だけでなく、住民みなさんが語学を身につけることで、圏域全体でおもてなし意識を持った観光推進になると考えるので、検討願いたい。	商工観光課	今後も増加すると予測される外国人観光客に対応するため、地域において語学研修が必要となっている。現在、市の嘱託職員が講師となり観光関係者を対象に語学研修を行っている(英語、韓国語、中国語)。市民を対象とした語学研修としては、富良野地域人材開発センターが地域の実情に合わせた(国際観光化)人材育成を展開しており、これまで韓国語、中国語の講座に取り組んできています。
子供が集える屋内施設について (安藤委員)	旭川市にある「カムイの森」や美瑛町にある「ピ・エール」の様な休日でも子供たちが遊べる、集える施設を圏域で検討できないか。	保健医療課 こども未来課	富良野市においては平成28年度から、保健センターの一部を毎月2回程度開放し、児童が親子と遊べる場を提供する準備を進めています。 今後も各市町村において、既存施設を柔軟に活用することで対応したいと考えています。